

南部地域活性化プログラム

担当当局：地域連携部南部地域活性化局

現状と課題

南部地域では、第一次産業の衰退に加え、大規模な工場誘致による雇用の場の確保も難しいことなどから、若者世代の人口の流出と高齢化が進行しており、集落機能の維持が困難になる集落が増えています。財政基盤の弱い市町も多く、市町と連携した活性化の取組を進めることで県の役割を果たすことが求められています。

また、東紀州地域では、これまで取り組んできた、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を生かした集客・交流や、地域資源を生かした産業振興に加えて、紀伊半島大水害からの復旧、復興が求められています。

めざす姿（プログラム目標）と取組の進め方

めざす姿と到達目標

南部地域において、あらゆる世代の人びとが生まれ育った地域に住み続けたいという思いがかなうように、若者の働く場が確保され、安心して住み続けることのできる地域社会が形成されています。

めざす姿の実現に向けて、4年後には、市町と連携して若者の雇用の確保や、定住の促進などの取組を進めるための仕組みが構築されています。

取組の進め方

「自立し、行動する」視点

若者をはじめあらゆる世代の地域住民の皆さんが、生まれ育った地域に住み続けることができるように、地域の課題を把握した上で、地域資源を生かした取組を主体的に進めています。

「みんなで取り組む」視点

地域住民、市町、県、大学等のさまざまな主体が、連携して南部地域の有する特色ある地域資源を発掘し、磨き上げます。また、地域の魅力を県内外に発信することを通じて、活発な交流や企業の社会貢献活動が行われるなど、さまざまな主体が地域社会を支える仕組みを構築します。

プログラムの数値目標

目標項目	H23(現状)	H24	H27
若者の定住率	62.4%	-	62.4%

[目標項目の説明]

- ・南部地域の市町における 25 歳～34 歳人口を 20 年前の 5 歳～14 歳人口で除した値を定住率として、5 年後に現状維持を目標として設定

プログラムの構成（実践取組と主な事業）

南部地域において、若者が生まれ育った地域に住み続けることができるようにするためには、取り組むべきさまざまな課題があります。地域の実情に応じて、市町と連携した課題の解決や活性化に向けた取組を進めます。

実践取組 1 「若者の働く場の確保、定住を進めます！」

若者に焦点をあてながら、働く場の確保、定住の促進を進めるとともに、あらゆる世代がいきいきと住み続けることができるように戦略的な取組を進めます。

（1）市町が連携した働く場の確保、定住の促進に向けた取組

【主な事業】

（新）南部地域活性化基金事業（市町のフレキシブルな連携事業）
（地域連携部南部地域活性化局）

【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】

（第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費）

当初予算額：(23) 千円 (24) 55,000千円

事業概要：南部地域の市町が、南部地域内外の市町と連携して行う、若者の働く場を確保し、定住を促進するための取組を支援したり、地域や市町のニーズに応じた事業を実施するため、基金を創設します。

（新）地域資源活用型雇用創出事業

（地域連携部南部地域活性化局）

【基本事業名：25102 課題解決に向けた県の取組】

（第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費）

当初予算額：(23) 千円 (24) 29,771千円

事業概要：地域資源を活用した取組を進めようとする企業等と連携して雇用の創出を図ります。

（新）南部地域活性化推進事業（総合調整事業）

（地域連携部南部地域活性化局）

【基本事業名：25101 フレキシブルな市町の連携】

（第2款 総務費 第6項 地域振興費 地域振興費）

当初予算額：(23) 千円 (24) 9,000千円

事業概要：地域住民の皆さんの主体的な取組を支援し、複数市町が連携した取組をコーディネートするための仕組みづくりを、市町や大学等と連携して進めます。

また、地域外からの若者の定住に向けた情報発信事業など、南部地域全体での取組を進めます。

（2）地域住民の生活の場である集落を支援する取組

【主な事業】

（新）集落支援モデルの構築事業（地域連携部南部地域活性化局）

【基本事業名：25102 課題解決に向けた県の取組】

（第2款 総務費 第6項 地域振興費 地域振興費）

当初予算額：(23) 千円 (24) 5,000千円

事業概要：外部との交流を通じた集落機能を維持するための取組等を、市町、大学等と連携してモデル的に進めます。平成24年度は3地域で取組を進めます。

実践取組 2

東紀州地域の紀伊半島大水害からの復興を進めます！

東紀州地域において、紀伊半島大水害からの復興に向け、国や市町などの関係機関と連携し、集客交流や産業振興などの取組を総合的に進めます。

(1) 東紀州地域の観光や産業の振興による活性化

【主な事業】

東紀州観光まちづくり推進事業(地域連携部南部地域活性化局)

【基本事業名：25201 地域の自立に向けた環境整備】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

当初予算額：(23) 20,561千円

(24) 20,078千円

事業概要：東紀州観光まちづくり公社において、観光商品づくりやエージェントセールスなどにより集客交流を図ります。また、物産展のアテンド等を通じた販路開拓や地域の人びとによる自主的な地域づくりを支援します。

熊野古道センター運営事業(地域連携部南部地域活性化局)

【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

当初予算額：(23) 71,522千円

(24) 66,675千円

事業概要：熊野古道を核とする魅力ある企画展や地域と連携した交流イベントの実施、情報発信等により集客を図ります。

紀南中核的交流施設整備事業(地域連携部南部地域活性化局)

【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

当初予算額：(23) 285,474千円

(24) 285,397千円

事業概要：事業者の独立採算により運営を行うことを条件とし整備等にかかる費用の一部を補助します。

(新)東紀州観光プロジェクト事業

(地域連携部南部地域活性化局)

【基本事業：25202 地域資源を生かした集客交流】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

当初予算額：(23) 千円 (24) 3,500千円

事業概要：台風12号等により被害を受けた東紀州地域の復興に向け観光面の情報発信を行うとともに、熊野古道世界遺産登録10周年や高速道路の概成などを契機としたイベントや観光キャンペーンの実施に向け準備を進めます。

熊野古道伊勢路を結ぶしくみづくり事業

(地域連携部南部地域活性化局)

【基本事業：25202 地域資源を生かした集客交流】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

当初予算額：(23) 6,119千円 (24) 6,261千円

事業概要：「熊野古道まちなか案内所」の設置や東紀州地域の観光・産業を中心とした情報誌の発行など、熊野古道伊勢路を通して歩くことができる環境を整備します。

(新)東紀州産品販路拡大支援事業

(地域連携部南部地域活性化局)

【基本事業：25203 地域資源を生かした産業振興】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

当初予算額：(23) 千円 (24) 1,273千円

事業概要：東紀州地域の一次産品を使った加工品等について、通信販売事業者等の商品メニューへの掲載を働きかけるなど販

路拡大を支援します。

(新) 第22回世界少年野球大会三重・奈良・和歌山大会開催事業

(地域連携部スポーツ推進局)

【基本事業名：24102 地域スポーツの活性化】

(第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 1スポーツ推進費)

当初予算額：(23) 千円

(24) 35,000千円

事業概要：紀伊半島大水害により被災された地域とそこに暮らす方々を勇気づけ、未来の希望につながる機会とするため、第22回世界少年野球大会を熊野市を中心とする紀伊半島南部地域で開催します。

(2) 新たな木質バイオマス供給拠点づくり

【主な事業】

(新) 新たな木質バイオマス供給拠点づくり事業(農林水産部)

【基本事業名：31301 県産材の利用の促進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2林業振興指導費)

当初予算額：(23) 千円 (24) 7,500千円

事業概要：東紀州地域において、新たに木質バイオマスを安定的に供給できる体制を構築するため、搬出事業者や運搬事業者に対して、収集・運搬機械等の整備や流通支援を行います。

(チップ原料供給機械等支援、チップ流通支援2,000t)